

## 長周期地震動の観測結果ページの見方

### 【トップページの説明】

[ホーム](#) > [各種データ・資料](#) > [長周期地震動の観測結果](#) >

#### 長周期地震動の観測結果

① **長周期地震動の観測結果**

【地震の概要】  
 地震検知時刻 2022年10月02日 00時02分ごろ  
 震央地名 大隅半島東方沖  
 緯度 北緯31.3度  
 経度 東経131.6度  
 深さ 深さ 30 km  
 マグニチュード 5.8

【長周期地震動階級1以上が観測された地域】  
 長周期地震動階級2 宮崎県南部山沿い  
 長周期地震動階級1 宮崎県北部平野部 宮崎県南部平野部 鹿児島県薩摩

② [過去の情報等のリンクへ（このページの下部）](#)

#### 長周期地震動階級1以上が観測された地域



⑤ **観測点別詳細資料**

都道府県 **全国** 長周期地震動階級 **階級1以上**

④

都道府県名	地域名	観測点名	震度	長周期地震動階級
宮崎	宮崎県南部山沿い	都市市喜蒲原	4	階級2
宮崎	宮崎県北部平野部	新富町上富田	4	階級1
宮崎	宮崎県南部平野部	宮崎市霧島	4	階級1
宮崎	宮崎県南部平野部	日南市油津	4	階級1
宮崎	宮崎県南部平野部	串間市奈留	3	階級1
宮崎	宮崎県南部山沿い	小林市真方	3	階級1
鹿児島	鹿児島県薩摩	鹿児島空港	3	階級1

#### 長周期地震動階級の凡例: 階級1 階級2 階級3 階級4

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまらんと感じる。物につかまらなと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書籍の本が落ちることがある。	—
階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

- ⑦ [全観測点の階級情報csvファイル](#)
- ⑧ [各観測点の地動（震度、加速度、速度、変位）最大値csvファイル](#)
- ⑨ [各観測点の加速度ファイル](#)

- ⑩ [長周期地震動の観測結果の過去履歴（過去30日間）](#)
- ⑪ [過去に長周期地震動階級1以上を観測した地震一覧のページ（地震発生後、概ね1週間程度で掲載）](#)
- ▶ [長周期地震動に関する観測情報について](#)
  - ▶ [長周期地震動について](#)
  - ▶ [地震情報の解説へ](#)

- ① 地震の情報（震源の位置（緯度・経度、深さ）、マグニチュード等）※と長周期地震動階級1以上が観測された地域を示します。長周期地震動階級1以上が観測された地域名は、震度速報で用いている全国を188の地域に分割した地域名を用い、その地域における気象庁の地震計での最大の長周期地震動階級を表示します。 ※速報値を表示しています。
- ② 過去の情報等、ページ下部にあるリンク部分へと移動します。
- ③ 長周期地震動階級1以上が観測された地域を図示しています。図をクリックすると拡大図をご覧になれます。
- ④ 震度1以上を観測した気象庁の地震計での震度と長周期地震動階級を表示します。震度の欄中では、「各地の震度に関する情報」に掲載した震度を表示しています。震度を発表していない観測点（震度0や欠測の観測点等）は表示しません。  
長周期地震動階級の欄中では、観測された長周期地震動階級を示しており、「階級0」は長周期地震動階級1に達していなかったことを示しています。  
震度と長周期地震動階級は、表の項目名部分をクリックすると降順にソートします。  
リンクをクリックすることで、観測点詳細ページに遷移します。
- ⑤ プルダウンメニューでご覧になりたい都道府県を選択すると、その都道府県における気象庁の地震計での震度と長周期地震動階級を表示します。
- ⑥ プルダウンメニューで、長周期地震動階級により表示する観測点を変更します。該当する観測点がない場合は「長周期地震動階級0以上を観測した観測点はありません」と表示されます。
- ⑦ 対象とする地震で観測された長周期地震動階級等を掲載しているcsvファイルです。
- ⑧ 対象とする地震で観測された地動（震度、加速度、速度、変位）最大値を掲載しているcsvファイルです。
- ⑨ 加速度波形データのcsvファイルです。（観測された全観測点分をひとつのファイルに圧縮して掲載しています。）
- ⑩ 過去履歴（過去30日間）のページに遷移します。
- ⑪ 地震発生後、概ね1週間程度で掲載する、長周期地震動階級1以上を観測した地震のページに遷移します。

表 プルダウンメニューで分割して表示している都道府県

都道府県	プルダウンメニューの名称	含まれている地域名
北海道	北海道道央	石狩地方北部、石狩地方中部、石狩地方南部、後志地方北部、後志地方東部、後志地方西部、空知地方北部、空知地方中部、空知地方南部
	北海道道南	渡島地方北部、渡島地方東部、渡島地方西部、檜山地方、北海道虻田島、胆振地方西部、胆振地方中東部、日高地方西部、日高地方中部、日高地方東部
	北海道道北	上川地方北部、上川地方中部、上川地方南部、留萌地方中北部、留萌地方南部、宗谷地方北部、宗谷地方南部、北海道利尻礼文
	北海道道東	網走地方、北見地方、紋別地方、十勝地方北部、十勝地方中部、十勝地方南部、釧路地方中南部、釧路地方北部、根室地方北部、根室地方中部、根室地方南部
東京都	東京	東京都23区、東京都多摩東部、東京都多摩西部
	伊豆諸島	神津島、伊豆大島、新島、三宅島、八丈島
	小笠原	小笠原
鹿児島県	鹿児島	鹿児島県薩摩、鹿児島県大隅、鹿児島県十島村、鹿児島県姪島、鹿児島県種子島、鹿児島県屋久島
	奄美	鹿児島県奄美北部、鹿児島県奄美南部
沖縄県	沖縄本島	沖縄県本島北部、沖縄県本島中南部、沖縄県久米島
	大東島	沖縄県大東島
	宮古島	沖縄県宮古島
	八重山	沖縄県石垣島、沖縄県与那国島、沖縄県西表島

【観測点詳細ページの説明】

① **【観測地点】**  
 地点名: 郡城市苜浦原  
 地域名: 宮崎県南部山沿い  
 観測時間: 2022.10.02 00:02:30~00:07:30

**【震度】**  
 4

**【長周期地震動階級】**  
 2

② **【長周期地震動の周期別階級】**

周期	1秒台	2秒台	3秒台	4秒台	5秒台	6秒台	7秒台
階級	2	1	0	0	0	0	0

[長周期地震動階級について  
固有周期と建物の関係のページへ](#)

③ **【絶対速度応答スペクトル (Sva)】** 減衰定数: 5.0%

⑤ **【速度波形】**

④ **【絶対加速度応答スペクトル (Saa)】** 減衰定数: 5.0%

⑥ **【加速度波形】**

⑦ **【地動最大値】**

加速度NS	加速度EW	加速度UD	3成分合成加速度	速度NS	速度EW	速度UD	3成分合成速度	変位NS	変位EW	変位UD	3成分合成変位
36.508	33.167	12.874	44.716	4.090	4.146	2.172	4.957	0.640	0.927	0.493	0.952

⑧ [絶対加速度応答スペクトルcsvファイル](#)  
[絶対速度応答スペクトルcsvファイル](#)

[このページのトップへ](#)

- ① 観測点の震度情報における発表名称、観測点が位置する地域名称、地震波形の観測時間、観測点における震度、観測点における長周期地震動階級、観測点における周期別階級を示します。周期階級として、周期 1.6 秒～周期 1.8 秒を 1 秒台、周期 2.0 秒～周期 2.8 秒を 2 秒台、周期 3.0 秒～周期 3.8 秒を 3 秒台、周期 4.0 秒～周期 4.8 秒を 4 秒台、周期 5.0 秒～周期 5.8 秒を 5 秒台、周期 6.0 秒～周期 6.8 秒を 6 秒台、周期 7.0 秒～周期 7.8 秒を 7 秒台、と表示しています。また、震度は、「震源・震度情報」に掲載した震度を表示しています。
- ② 長周期地震動階級や固有周期と建物の関係を解説しているページに遷移します。
- ③ 絶対速度応答スペクトルグラフを示します。(各成分ごと (NS、EW、UD) および水平動合成)。減衰定数は 0.5%、2%、5%、20% から選択できます。減衰定数 5% のグラフでは、長周期地震動階級の閾値を図示しています。
- ④ 絶対加速度応答スペクトルグラフを示します (各成分ごと (NS、EW、UD) および水平動合成)。減衰定数は 0.5%、2%、5%、20% から選択できます。
- ⑤ 地動速度時刻歴波形グラフを示します。成分は、上から南北成分 (NS)、東西成分 (EW)、上下成分 (UD) となっています。

- ⑥ 地動加速度時刻歴波形グラフを示します。成分は、上から南北成分(NS)、東西成分(EW)、上下成分(UD)となっています。
- ⑦ 地動(加速度、速度、変位)の最大値を示します。
- ⑧ 絶対速度応答スペクトルグラフおよび絶対加速度応答スペクトルグラフの作成に用いたデータの csv ファイルです。

【ダウンロード可能な各種データファイルについて】

○全観測点の階級情報 csv ファイル (level.csv)

1 行目: 項目名 (左から順に以下のとおり)

- ・ 震度計番号: 震度計を識別するための5桁の番号
- ・ 観測点名称: 震度情報における発表名称
- ・ 地域名称: 観測点が位置する地域名称
- ・ 観測開始時刻: 地震波形の観測開始時間
- ・ 観測時間(分): 地震波形の観測総時間(分)
- ・ 長周期地震動階級: 観測点における長周期地震動階級の周期1秒台~7秒台の最大値
- ・ 1秒台: 周期1秒台の長周期地震動階級
- ・ 2秒台: 周期2秒台の長周期地震動階級
- ・ 3秒台: 周期3秒台の長周期地震動階級
- ・ 4秒台: 周期4秒台の長周期地震動階級
- ・ 5秒台: 周期5秒台の長周期地震動階級
- ・ 6秒台: 周期6秒台の長周期地震動階級
- ・ 7秒台: 周期7秒台の長周期地震動階級
- ・ 観測点緯度: 観測点の緯度(世界測地系)
- ・ 観測点経度: 観測点の経度(世界測地系)

2 行目以降: 観測点ごとのデータ

○各観測点の地動(震度、加速度、速度、変位)最大値 csv ファイル (max.csv)

1 行目: 項目名 (左から順に以下のとおり)

- ・ 震度計番号: 震度計を識別するための5桁の番号
- ・ 観測点名称: 震度情報における発表名称
- ・ 緯度: 観測点の緯度(世界測地系)
- ・ 経度: 観測点の経度(世界測地系)
- ・ 震度: 震度情報で発表した震度
- ・ 最大加速度 NS[cm/s/s]: 観測期間における南北成分の加速度の最大値
- ・ 最大加速度 EW[cm/s/s]: 観測期間における東西成分の加速度の最大値
- ・ 最大加速度 UD[cm/s/s]: 観測期間における上下成分の加速度の最大値

- ・最大加速度 3 成分合成 [cm/s/s] : 観測期間における 3 成分合成の加速度の最大値
- ・最大速度 NS [cm/s] : 観測期間における南北成分の速度の最大値
- ・最大速度 EW [cm/s] : 観測期間における東西成分の速度の最大値
- ・最大速度 UD [cm/s] : 観測期間における上下成分の速度の最大値
- ・最大速度 3 成分合成 [cm/s] : 観測期間における 3 成分合成の速度の最大値
- ・最大変位 NS [cm] : 観測期間における南北成分の変位の最大値
- ・最大変位 EW [cm] : 観測期間における東西成分の変位の最大値
- ・最大変位 UD [cm] : 観測期間における上下成分の変位の最大値
- ・最大変位 3 成分合成 [cm] : 観測期間における 3 成分合成の変位の最大値

2 行目以降 : 観測点ごとのデータ

注) これらの地動最大値の値については、気象庁が発行している強震観測報告に掲載している値とは異なる場合があります。

○絶対加速度応答スペクトル csv ファイル (NNNNYYYYMMDDhhmmss\_accsp.csv※)

※NNNN は観測点番号、YYYY は西暦、MM は月、DD は日、hhmmss は時分秒を示す。

- 1 行目 : 震度情報における発表名称 (SITE CODE)
- 2 行目 : 観測点の緯度 (LAT)
- 3 行目 : 観測点の経度 (LON)
- 4 行目 : データの単位 (UNIT)
- 5 行目 : 観測開始時刻 (INITIAL TIME)
- 6 行目 : 7 行目以降のデータに関する項目名 (左から順に以下のとおり)
  - ・ period : 固有周期 (0.2 秒刻み)
  - ・ 0.005\_ns : 減衰定数 0.5% の絶対加速度応答スペクトル値 (南北成分)
  - ・ 0.005\_ew : 減衰定数 0.5% の絶対加速度応答スペクトル値 (東西成分)
  - ・ 0.005\_ud : 減衰定数 0.5% の絶対加速度応答スペクトル値 (上下成分)
  - ・ 0.005\_hz : 減衰定数 0.5% の絶対加速度応答スペクトル値 (水平動合成)
  - ・ 0.020\_ns : 減衰定数 2% の絶対加速度応答スペクトル値 (南北成分)
  - ・ 0.020\_ew : 減衰定数 2% の絶対加速度応答スペクトル値 (東西成分)
  - ・ 0.020\_ud : 減衰定数 2% の絶対加速度応答スペクトル値 (上下成分)
  - ・ 0.020\_hz : 減衰定数 2% の絶対加速度応答スペクトル値 (水平動合成)
  - ・ 0.050\_ns : 減衰定数 5% の絶対加速度応答スペクトル値 (南北成分)
  - ・ 0.050\_ew : 減衰定数 5% の絶対加速度応答スペクトル値 (東西成分)
  - ・ 0.050\_ud : 減衰定数 5% の絶対加速度応答スペクトル値 (上下成分)
  - ・ 0.050\_hz : 減衰定数 5% の絶対加速度応答スペクトル値 (水平動合成)
  - ・ 0.200\_ns : 減衰定数 20% の絶対加速度応答スペクトル値 (南北成分)

- ・ 0.200\_ew : 減衰定数 20%の絶対加速度応答スペクトル値 (東西成分)
  - ・ 0.200\_ud : 減衰定数 20%の絶対加速度応答スペクトル値 (上下成分)
  - ・ 0.200\_hz : 減衰定数 20%の絶対加速度応答スペクトル値 (水平動合成)
- 7行目以降 : 周期ごとのデータ

○絶対速度応答スペクトル csv ファイル (NNNNNYYYYMMDDhhmmss\_velsp.csv※)

※NNNNN は観測点番号、YYYY は西暦、MM は月、DD は日、hhmmss は時分秒を示す。

- 1行目 : 震度情報における発表名称 (SITE CODE)
- 2行目 : 観測点の緯度 (LAT)
- 3行目 : 観測点の経度 (LON)
- 4行目 : データの単位 (UNIT)
- 5行目 : 観測開始時刻 (INITIAL TIME)
- 6行目 : 7行目以降のデータに関する項目名 (左から順に以下のとおり)
  - ・ period : 固有周期 (0.2 秒刻み)
  - ・ 0.005\_ns : 減衰定数 0.5%の絶対速度応答スペクトル値 (南北成分)
  - ・ 0.005\_ew : 減衰定数 0.5%の絶対速度応答スペクトル値 (東西成分)
  - ・ 0.005\_ud : 減衰定数 0.5%の絶対速度応答スペクトル値 (上下成分)
  - ・ 0.005\_hz : 減衰定数 0.5%の絶対速度応答スペクトル値 (水平動合成)
  - ・ 0.020\_ns : 減衰定数 2%の絶対速度応答スペクトル値 (南北成分)
  - ・ 0.020\_ew : 減衰定数 2%の絶対速度応答スペクトル値 (東西成分)
  - ・ 0.020\_ud : 減衰定数 2%の絶対速度応答スペクトル値 (上下成分)
  - ・ 0.020\_hz : 減衰定数 2%の絶対速度応答スペクトル値 (水平動合成)
  - ・ 0.050\_ns : 減衰定数 5%の絶対速度応答スペクトル値 (南北成分)
  - ・ 0.050\_ew : 減衰定数 5%の絶対速度応答スペクトル値 (東西成分)
  - ・ 0.050\_ud : 減衰定数 5%の絶対速度応答スペクトル値 (上下成分)
  - ・ 0.050\_hz : 減衰定数 5%の絶対速度応答スペクトル値 (水平動合成)
  - ・ 0.200\_ns : 減衰定数 20%の絶対速度応答スペクトル値 (南北成分)
  - ・ 0.200\_ew : 減衰定数 20%の絶対速度応答スペクトル値 (東西成分)
  - ・ 0.200\_ud : 減衰定数 20%の絶対速度応答スペクトル値 (上下成分)
  - ・ 0.200\_hz : 減衰定数 20%の絶対速度応答スペクトル値 (水平動合成)
- 7行目以降 : 周期ごとのデータ

○加速度波形 csv ファイル (NNNNNYYYYMMDDhhmmss\_acc.csv※)

※NNNNN は観測点番号、YYYY は西暦、MM は月、DD は日、hhmmss は時分秒を示す。また、

ファイルは観測のあった全観測点をまとめて zip に圧縮していますので、解凍して使用してください。なお、観測点番号と観測点の名称の対応は、level.csv を参照ください（圧縮ファイル zip に含んでいます）。

- 1行目： 震度情報における発表名称（SITE CODE）
- 2行目： 観測点の緯度（LAT）
- 3行目： 観測点の経度（LON）
- 4行目： サンプルング周波数（SAMPLING RATE）
- 5行目： データの単位（UNIT）
- 6行目： 観測開始時刻（INITIAL TIME）
- 7行目： 8行目以降のデータに関する成分名（左から順に以下のとおり）
  - ・ NS：南北成分
  - ・ EW：東西成分
  - ・ UD：上下成分
- 8行目以降： 成分ごとの加速度データ